

わたしの 妊娠報告書

記載日 20年 7月 31日

おめでた宣言日	20年 5月
年齢 (32) 歳	平成 (16) 年 (5) 月 結婚
私は (体外受精 3回目 後の 自然妊娠)	で妊娠しました。

不妊治療歴	(2) 年 (6) ヶ月
他院での治療歴	(なし) あり→内容 ()
ASKAでの治療歴	
一般不妊治療	
<input checked="" type="checkbox"/> 自然排卵 タイミング法 (2) 回	
<input checked="" type="checkbox"/> 排卵誘発 タイミング法 (4) 回	
<input type="checkbox"/> 自然排卵 +人工授精 () 回	
<input checked="" type="checkbox"/> 排卵誘発 +人工授精 (8) 回	
生殖補助医療	
<input type="checkbox"/> DOST 法 () 回	
<input checked="" type="checkbox"/> 体外受精 (1) 回	
<input checked="" type="checkbox"/> 顕微授精 (2) 回	

妊娠の秘訣・心がけていた事

体を冷やさないことを心がけていました。

期待しすぎは良くないと言われましたが、薬や注射や、頑張った分期待するのは

しょうがないと思います。ダメだったときは思いきり泣いて気持ちを変えました。

4回目の体外受精も考えながらしばらく治療はお休みしようかと思、た矢先の妊娠でした。

何が起るか分からないので、諦めなくてよかったと思います。

わたしの 妊娠報告書

治療にまつわる苦労話し

治療内容

AIHを8回しても妊娠に至らず、「最後の希望」と体外受精にステップアップしたものの、初体外では「採卵2コ」「受精卵0コ」と胚移植にも至らず悔しい思いをしました。その後2回の採卵も「採卵4コ」「受精卵1コ」「採卵4コ」「受精卵2コ」と、卵の数が増えなかったことが一番の悩みでした。毎回採卵からのスタートだったので、毎日の注射の為の通院や、採卵が負担でした。思わ様に卵が育たないこともストレスでした。

その他（通院・治療費・家族など）

体外受精にかかる治療費は高額で念出るのが厳しかったですが、少しでも早い方が質の良い卵ができるだろうと、ステップアップを決めました。主人は最初、治療には消極的でしたが、「私がどれほど子供が欲しいか」とか「治療は(AIHまでは)ほとんど自然妊娠と変わらない」とかを伝え続け、通院した日は治療内容や先生の言葉や、痛かったなど何でも話したことで、だんだん協力的になってくれました。

治療中の方へのアドバイス

ご主人には自分の気持ちも正直に言葉にして、不安も期待も、辛さも喜びも伝えてください。妊娠してから、そして子育てにはもっと、ご主人の協力が必要になります。治療中は何度も「一人だけが悩んでいる。どうして分かってくれないの」と不満に思いましたが、どうやら男性は言葉でハッキリ伝えないと分からないようです。喧嘩も大泣きもしましたが、今ではそれがお互いの考えを理解するのに良かったと思います。

スタッフへのご意見など

2年半一度も良い結果が出ず、期待と失望を繰り返すうちに、自分が妊娠できるなんて全然思えなくなり、ほとんど諦めていました。それでも中山先生が励ましてくださり、看護師の方、受付の方の笑顔に励まされ、もう少し、もう少しと頑張ることができました。